

医療薬学研究に関する情報公開

【研究名】

抗がん剤誘発末梢神経障害に及ぼす生活習慣病治療薬の影響の検討

【目的】

オキサリプラチンは大腸がんをはじめ胃がん、膵がんといった様々ながんの治療に広く用いられる抗がん剤です。このオキサリプラチンの使用によって生じる副作用のひとつに、しびれなどを伴う末梢神経障害があります。末梢神経障害が起こるとオキサリプラチンの投与量を減らしたり、投与を中止する必要があるため、がんの治療を行う上で大きな障害となります。しかしながら現在までに、オキサリプラチンによって起こる末梢神経障害を予防もしくは軽減する医薬品は開発されていません。この研究はオキサリプラチンによって起こる末梢神経障害の予防薬を開発することを目的としています。そのために、すでに細胞や動物で神経保護効果が知られている生活習慣病治療薬の一部によるオキサリプラチン誘発末梢神経障害に対する保護効果を評価します。

【研究内容】

本研究では、2009年4月～2018年3月に各病院でオキサリプラチンを用いた治療を受けられ、生活習慣病の治療薬を内服されている患者様を対象とします。この研究のために、対象の患者様に対して特別な治療が施されることはありません。研究では、対象患者様の診療情報のうち、病歴、抗がん剤治療の治療歴、抗がん剤以外の医薬品の服用歴、副作用等の発生状況等を用います。収集したデータは研究目的のみに使用し、研究終了後5年間保存いたします。その後、書類等はシュレッダーにより判読不能な状態とし、電子データ等は消去ツールの使用その他の方法により完全に当該データ等を消去します。

【研究期間】

2018年10月1日～2021年3月31日を予定

【個人情報の管理】

収集されたデータは個人情報を削除した後、特定の研究者以外がアクセスできない状態で管理します。また、本院で収集したデータに関しては、当院の研究責任者が保管・管理します。

【研究実施体制】

- 1) 石澤 啓介 (徳島大学病院 薬剂部)
- 2) 座間味 義人 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床薬理学分野)
- 3) 中馬 真幸 (徳島大学病院 臨床試験管理センター)
- 4) 岡田 直人 (徳島大学病院 薬剂部)
- 5) 新村 貴博 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床薬理学分野)
- 6) 千堂 年昭 (岡山大学病院薬剂部)
- 7) 牛尾 聡一郎 (岡山大学病院薬剂部)
- 8) 田中 守 (愛媛大学医学部附属病院薬剂部)
- 9) 川尻 雄大 (九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野)
- 10) 島添 隆雄 (九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野)
- 11) 小林 大介 (九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野)
- 12) 江頭 伸昭 (九州大学病院 薬剂部)
- 13) 武智 研志 (松山大学薬学部 医薬情報解析学)
- 14) 高取 真吾 (松山大学薬学部 医薬情報解析学)
- 15) 内田 真美 (松山大学薬学部)

【研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する問い合わせを希望される方は、研究責任者に御連絡ください。

研究代表者

松山大学薬学部 医療薬学科 医薬情報解析学

氏名：武智 研志

790-8578 松山市文京町 4 番地 2

電話番号：089-926-7248

E-mail：k.takechi@g.matsuyama-u.ac.jp